

平成30年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	34	学校名	静岡県立静岡高等学校定時制	記載者	竹下 晋
------	----	-----	---------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	学校・保護者・社会が協力して、生徒を育てる環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒個々の情報を把握し、適切な指導を、足並みを揃えて実践する。 ・生徒との二者面談は100%、保護者との三者面談は90%以上実施する。 ・家庭における生徒と保護者の学校生活の会話の増加 ・生徒の働く企業（アルバイト先）を訪問し、情報交換を行う。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数ゆえのきめ細かいケアやコミュニケーションの充実が、とてもいい環境にあると感じます。 ・家庭的に問題を抱えたり親子間で問題を抱えたりする生徒もいる中で、二者面談と三者面談を合わせて計7回100%実施されたのは素晴らしいことだと考えます。 ・家庭や就労先との十分な連携の下、個に応じた生徒の把握に努め信頼関係を築いていることを高く評価します。今後も「小さいけれども暖かい環境」をいつまでも継続できることを願っています。
イ	わかりやすい授業の展開により、基礎学力の定着をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業がわかると回答する生徒の人数を70%以上にする。 ・全員が1級以上は昇級する。 ・年度当初に比べて、基礎学力の向上があったと実感できる生徒を80%以上とする。 ・授業評価を年2回実施して、生徒の関心度が高まったと実感できる割合を増やす。 ・生徒同士が教え合う機会が増加し、前向きに授業に参加する場面を増やす。 ・該当する生徒が、授業をあきらめない状況をつくる。 ・成績不振者の減少、又は検定等の取得を達成する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が分かりやすいとアンケートで回答する生徒が96.5%と大変高い数字を示している点が素晴らしいと思います。授業が分かりやすいと出席率も高くなり、学習環境も向上されることから基礎学力も少しずつ向上・定着している様子が窺えます。 ・「印高基礎」での基礎力確認と併せて、個を大切にしたいきめ細かい学習指導を、更に推進されると嬉しく思います。 ・10月31日に授業参観させていただきました。どの授業も先生方が色々と工夫され、生徒も積極的に授業に参加する様子が窺えました。

ウ	<p>言葉を大切にする姿勢を育み、社会性を醸成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業や学校行事、集会などを通じて、場に応じた適切な言葉を使える生徒数を増加させる。生徒と教員のコミュニケーションを通して、言葉による暴力を根絶する。 ・スマホやインターネットの正しい使用法を身につけさせ、関連する問題行動を根絶する。 ・社会的なマナーの向上を図る。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価にあるように、集会等で発言機会を多くするなど、生徒のアウトプットの機会を増やし、少しずつ自信を身に付けていくようになると、言葉を大切にする習慣は、更に確立できると思います。教員から生徒への指導に加えて、生徒自らの意識の向上をいかに醸成していくかも大切かと感じています。 ・授業での生徒の発言を聞く限り不適切な言葉遣いは一切感じられませんでした。日頃からのコミュニケーションが肝要だと考えます。 ・社会的にスマホ依存が高まる中で、学校での指導やアドバイスもより重要になるので引き続き進めていただければと思います。
エ	<p>生徒・教職員の心身の健康の保持、増進をはかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、及び教員の交通事故0件を達成する。 ・校内外における地震、火災等の際の避難方法を生徒・職員が完全に理解する。 ・薬物や飲酒、喫煙など身体的影響に関する理解率を向上させる。 ・いじめの早期発見に努め、いじめによる生徒指導件数0件を達成する。 ・勧告を受けた生徒の受診率100%を目指す。 ・相談しやすい雰囲気であると感じる生徒数の増加。 ・問題が大きくなる前の、解決を目指す。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・重大な事故がなく安全な学校生活・登下校が実施できた点は高く評価できます。しかしながら、校内外の事故は予期しないタイミングで突発的に起こることが多いです。自然災害、交通事故等に関しては、自分で自分の安全を確保する姿勢、判断する能力を丁寧に御指導ください。 ・いじめによる生徒指導がまったくなかったのは特筆すべきことだと思います。 ・いじめなど心の問題への解決の大きなポイントは、早期発見・早期対応です。日頃から相談を受けやすい人間関係づくりが肝要かと思っています。この点も、教員間の連携もよく評価できると思います。
オ	<p>互いを認め合い、自分の行動に責任を持つ姿勢を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会の主体的な運営により、教員の係りを減少させる。 ・生徒が互いの意見や行動を認めるとともに、自分の意見を他 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に生徒が積極的に参加していることがわかります。更に、生徒が自発的に学校行事を作り上げていければ望ましいと思います。 ・「漢字一文字」をはじめ、生徒の

様式第5号

		<p>者に伝え、責任をもった行動ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の楽しさを実感させ、参加率90%以上を目指す。 ・自分の生活への反省、または成長を実感し、次のステップへの目標を明確にする生徒数の増加。 			<p>主体性を育む指導が成果を挙げていると感じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員主導から生徒主導へとシフトするには、教員側の信念と粘り強い「待ち」の対応、そして生徒のリーダー育成がポイントと思うので、その点、教員間の合意形成が欠かせない。愛情を持ち、手順を踏んで取り組んで、着実な成果が得られることを切に期待します。
カ	<p>年次ごとの体系的なキャリア教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年において、進路意識が明確になる生徒数を増加させる。 ・全学年のハローワーク等外部機関への登録70%以上を目指す。 ・就職希望者のアルバイトによる就労率80%以上を目指す。 ・就職希望者の内定率100%を達成する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の進路指導日や各種進路行事の実施等で、体系的なキャリア教育は成されていると思います。十分に評価できる。定時制生徒のキャリア教育の取組やその成果を積極的に広報して、地域にアピールすることも大切かと思えます。(地域の方、振興会、卒業生など見方を増やすことにより、進学・就職の選択肢を増やすことにつながることも多いと思います。) ・年7回の個人面談の実施も、生徒の進路を考える意識付けに現われているのではないかと思います。
キ	<p>業務改善を進め、職員が働きやすい環境への改革を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の行事のねらいが重複するものについては、実施方法を変更、もしくは廃止する。 ・打合せ時間を短縮させる。 ・休暇取得率、取得時間が増加する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育で省力化はなかなか困難なことだと思いますが、できることから始めるしかないと思います。 ・働き方改革は社会的取組であり、特に教職員の負荷は大きいと感じます。休暇取得等の労働環境改善がより進むよう期待します。 ・ますます増加する業務量に対して、教員の負担は増すばかりで、大変気の毒に思います。そうした中、相当な知恵と工夫(業務削減の検討・PC掲示板の活用等)を出している点は大いに評価できます。諦めずに継続してください。